

(様式 17)

学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称 博士（医 学） 氏名 木佐 健悟

主査 教授 玉城 英彦
審査担当者 副査 教授 寺沢 浩一
副査 教授 松居 喜郎
副査 教授 小山 司

学位論文題名

プライマリケア外来における診察時間に関する研究

本論文は、プライマリケア外来における診察時間に焦点をあて、量的研究・質的研究の双方を用い、診察時間の構造、診察時間に影響を与える要因、日本の診察時間と満足度の関係など複数の新しい知見を明らかにし、診察時間に関する今後の研究の方向性を示したものである。

質疑応答では、小山教授から量的研究の調査対象となった地域や医療機関の背景について、初診と再診の患者で診察時間は違うと予想されるがどのように解釈するのか、患者満足度を尋ねた質問紙の回答には追従バイアスが入っているのではないかと、という質問があった。次いで、松居教授から適切な診察時間は患者毎に違うのではないかと、今回の調査対象であるプライマリケア外来の知見は他の外来に適用できるのか、という質問があった。また、寺沢教授から研究の前提となる文化的背景や保険制度の具体的な内容について、診察の構造の各段階についての定義について、今後の研究の方向性として挙げられていたデルファイ法についての質問があった。最後に、玉城教授から各研究の倫理審査の状況について、量的研究の調査対象のサンプリングの方法について、順序ロジスティック回帰分析のオッズ比の解釈についての質問があった。

いずれの質問に対しても、申請者は自身の研究から得られたデータや分析結果、考察、先行研究などを引用して適切に回答した。

この論文は、診察時間に関する複数の新しい知見を明らかにし、今後の方向性を示した研究として高く評価され、今後の外来診療を考える上で基礎になる研究として期待される。

審査員一同は、これらの成果を高く評価し、大学院課程における研鑽や取得単位なども併せ、申請者が博士（医学）の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。